



Network こんなことやってるよ!

自然環境保全を目指して県内で活動するグループを紹介します

「上伊那農業高校バイテク班」

私達、上伊那農業高校バイテク班は「アツモリソウを未来に残したい」という思いを胸に11年前から活動をしてきました。アツモリソウは絶滅が危惧されている希少な花で、地域の方からの依頼がきっかけで私達は保護活動を開始しました。昨年度からは栽培チームと遺伝子チームに分かれて活動を始め、栽培チームはアツモリソウを栽培する上で欠かせない土壌や周辺環境の研究を、遺伝子チームはアツモリソウの遺伝子解析を行っています。普段は高校での活動ですが、アツモリソウの自生地的美ヶ原に視察に向かつて現地の状況を観察したり、いろいろなイベントに参加してアツモリソウの保護活動を発表し、多くの人に私達の活動を知ってもらえるような取り組みを行っています。その成果もあり、今年度は地元企業の株式会社マナテックとパートナーシップ協定を結び、アツモリソウを栽培するのに必要な人工気象器の寄贈と10年間の資金援助が保証されました。さらに10年前に無菌播種したアツモリソウが初めて花を付け、保護活動の自信に繋がりました。

私達の活動は一朝一夕に成せるものではありませんし、他から見ればとても地味な活動かもしれませんがアツモリソウを守るために必要な活動です。今年度はアツモリソウの開花や企業との連携など、保護活動を進める上でとても成果を残せた年だったと思います。来年度は今年度出た課題を改善していけるように、また、多くの人に保護活動を知っていただけるように力を尽くしていきたいです。

(生物化学科 2年 久保田 菜莉)

BOOKS

読書案内

南アルプス開拓の父 「竹澤長衛物語」

松尾 修著 (山と溪谷社、2012年、336ページ、1,800円+税)

『俺はなえ、長衛小屋の竹澤長衛だ!』南アルプスの女王と呼ばれる仙丈ヶ岳の麓に生まれ、南アルプスの礎を築いた長衛の一生 (M22~S33) を描いた伝記。「三人寄れば、山 (さん) 岳会」と言われるほど、登山が全国的に普及し始めた時代に、山の魅力を伝えるため尽力した。熊猟が、「秋熊猟」「穴熊猟」「出熊猟 (巻猟)」に分けられること、「オシ」という現在禁止の罠の話など、当時の貴重な狩猟の知識も得られる。私は、信大農学部3年の夏休みに、長衛藪沢小屋の管理のアルバイトをし、その仙丈ヶ岳を正面に臨むことのできる伊那市荒井の地に、終 (つい) の住家を建てることのできた。長衛との因縁を感じる。

【おまけ】「山スキー中熊に襲われる～白馬乗鞍岳男性おおげが～」(H29.11.27信毎)。クマの生態が解る小説の定番に、吉村昭の「巖嵐 (くまあらし)」(大正4年、北海道で起きた巖による6人死亡の事件の実話を小説化) が、また、クマと人が相対したときの壮絶な状況は、レオナルドディカプリオ主演の映画「レヴェナント」が秀逸である。

(阿部勝彦)



長衛藪沢小屋前にて (H53.8)